

2019年度前期 公開授業一覧

授業番号	授業科目	曜日	時限	受講場所	定員	授業内容	学科	担当教員
①	オーケストラI・II	月	3~4 ※	音楽ホール棟 音楽ホール	5	管弦楽曲、交響曲の作品の合奏練習を通して、個々の楽曲に相応しい演奏解釈を見つけ出し、音楽表現のための合奏技術を習得します。 ※通常の時間割と異なり、授業時間は13時45分~16時00分です。 一般受講生は聴講となります。	音楽科	教授 川瀬 麻由美 清水 万敬 森口 真司 講師 高田 喜夫
②	吹奏楽A	火	6	音楽ホール棟 音楽ホール	5	基礎的な合奏を通じて、アンサンブル能力や協調性を高めます。感性を磨き、指導法や楽曲に応じた演奏表現を習得します。 ※一般受講生は聴講となります。 バンドスタディを持参できることが望ましいです。	音楽科	教授 清水 万敬 講師 高田 喜夫
③	重唱I	水	2	音楽ホール棟 音楽ホール	10	オペラにおける歌詞のやりとりを演奏形式で行うことで、より自然な感情の流れによる舞台演技法を実践します。イタリア語、ドイツ語等の正しいディクションを学ぶことで、言語と音楽の密接な結びつきを感じながら、他者とのアンサンブルを学びます。 ※一般受講生は聴講となります。	音楽科	教授 愛甲 久美 森口 真司 准教授 行天 正恭 林 満理子
④	指揮法	木	3~4	音楽ホール棟 音楽ホール	10	指揮の意味と役割を理解したうえで、まずは「運動」という観点から指揮法の基礎を学びます。さらに強弱や緩急、フェルマータなど多様な表現を学びつつ、「自分がイメージしている音楽をほかの人に音にしてもらう」という指揮の本質について考察します。	音楽科	教授 森口 真司
⑤	西洋文化史特論	火	1	人文棟 視聴覚室	10	ファン・エイクやボッティチェリなど、15~16世紀ヨーロッパの絵画作品を取り上げて、歴史的背景を考え合わせながら、描かれた内容を読み解いていきます。また、西洋の文化的伝統への理解を深めることも目指します。	国際総合学科	教授 高瀬 圭子
⑥	大分の観光と文化	火	2	人文棟 大講義室	10	専門分野を異にする教員3名が、その専門領域を生かしながら、大分の観光と文化についてオムニバス形式の講義を行います。観光振興の戦略や問題点について認識するとともに、地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再発見することを目的とします。	国際総合学科	教授 曠谷 憲洋 准教授 宮野 幸岳 講師 千賀 喜史
⑦	ヨーロッパの歴史	金	2	人文棟 101講義室	10	文化と芸術が花開き、多くの観光客を魅了する一方で、EUによるヨーロッパ統合・拡大や「ユーロ危機」など、現代の国際情勢においても重要な位置をしめる「ヨーロッパ」について、他の文化圏との交流といった側面も踏まえながら、立体的に理解することを目指します。	国際総合学科	教授 曠谷 憲洋
⑧	現代社会論	火	4	人文棟 大講義室	5	さまざまな社会学者と彼らが取り組んだ課題、授業中に提示する命題、映像やマンガなどの素材を切り口にしながら、社会学の基礎について学んでいく講義です。	情報 コミュニケーション 学科	講師 安倍 尚紀
⑨	メディアリテラシー	金	2	人文棟 大講義室	5	インターネットの台頭によって、発信者の意図を探るメディアリテラシーの重要性が高まっています。メディア発達の歴史、異なるメディアの特徴、SNSでの注意点などを取り上げ、メディアの影響力について学んでいきます。	情報 コミュニケーション 学科	准教授 狩谷 新
⑩	産業・組織心理学	金	3	人文棟 102講義室	3	企業を対象にして「働く人間」の心理学的理解をめざします。内容としては、職場の人間関係、リーダーシップ、意思決定などを取り上げます。 ※4/12(金)の授業(第1回)は、学生向けのオリエンテーションですので、4/19(金)の授業(第2回)から受講してください。	情報 コミュニケーション 学科	教授 吉山 尚裕



お申し込み・お問い合わせ先

〒870-0833 大分市上野丘東1-11
大分県立芸術文化短期大学 公開授業担当

TEL 097-545-0542 (平日9:00~17:00)
 FAX 097-545-0543
 メール geitan-oc@oita-pjc.ac.jp
 ホームページ www.oita-pjc.ac.jp

大分芸短

